

減災センター教授・コーディネーターとの連携を始めました。

地震、津波、大雨などの災害が生じたときの備えはとても重要です。これまでも、避難訓練やVRを用いた防災教育などに取り組んできました。

今年、大分大学減災・復興デザイン教育研究センターの 鶴成悦久 教授、同センター 板井幸則 防災コーディネーターにご指導をお願いすることになりました。

7月25日（月）本校のマニュアル、備蓄の状況、これまでの取組などをチェックしていただきました。今後は、避難訓練などの機会を捉えて参観をお願いし、改善をしていきます。



一人一人の防災用リュックの中を抜き打ちでチェックです。好きなおもちゃを一つ入れるなどの改善点をいただきました。



避難訓練時に使用し、掲示している避難時の約束です。



AEDの配置も見ていただきました。非常時に1分程度で持参できることを考慮して、運動場に近い場所に1台、職員室に1台と説明しています。